

1 沿革

本校は、大平西小及び大平南小の児童数増加に伴い、分離校として昭和55年に創立（4月7日、南小地区418名、西小地区205名、東小地区他92名が集い、児童数715名、職員28名でスタート）。建学の精神である「光の子…ふりそそぐ光に育まれる子」「香りの子…清潔でみどりこき良い環境で育つ子」「希望の子…世界にはばたく希望いっぱいの子」や「野を拓き我ら集えり」等が校歌の歌詞（作詞：生井武司 作曲：足羽 章）に込められている。その後校舎増改築、耐震補強、大規模改修工事を経て今日に至っている。その間、県教委指定の「同和教育」「人権教育」「体力づくり研究」「ボランティア活動協力校」「いきいき教育活動実践校」「高齢者福祉教育推進校」等の研究発表、また、市教委指定の「ICT活用モデル校」「外国語教育実践研究校」「道徳教育推進研究校」研究発表を行ってきた。平成29年度からは、『地域とともにある学校づくり』と『学びの連続性と一貫性のある教育』の実現を目指し、『小中一貫コミュニティ・スクール』を推進している。令和3年度には、GIGAスクール構想により一人一台タブレット端末が整備され、情報活用能力の育成を推進してきた。創立44年目を迎える。



玄関正面の3つの子ども像

2 学校環境と特色（地域・児童の実態等）

（1）児童数 545名（令和5年4月1日現在）

（2）学級数 通常学級18、知的3、自・情1、言語通級2、日本語1

- ① 大平中央小学区は、栃木市のほぼ中央に位置し、近年の宅地開発で新しく移り住む住民の割合が増えている。（新地区・西野田地区が中心。他に富田地区・日立地区）
- ② 学区には、学校を中心の1km内に隣保館・運動公園・駅・公民館・保育園・工場・スーパー・コンビニ・医療機関・福祉施設等があり、子育てにやさしく住環境に適した地域である。
- ③ 地域住民は、学校教育への期待が高く、学校に対して協力的な面と厳しく批判的な両面を併せ持っている。また、各家庭には多様な環境の背景があり、児童の日々の学校生活や成長に様々な影響を与えている状況がある。
- ④ 外国籍児童約20名（フィリピン・ペルー・中国・他）、外国につながる児童約30名。
- ⑤ 児童は、明るくのびのびとして社交的であり、男女の仲もよく、学習や行事に積極的に取り組む児童が多い。一方、公德心に欠ける児童や自尊心の低い児童も比較的多く見られる。
- ⑥ 保護者・地域は協力的で、地域の行事も盛ん。近年、とちぎ未来アシストネットを基盤にした「地域とともにある学校」と南中ブロックでの「学びの連続性と一貫性のある教育」を目指した小中一貫コミュニティ・スクールの推進態勢ができてつつある。学校運営協議会、学校支援ボランティア・読み聞かせボランティア・親父の会等の学校応援団が組織されている。

3 教育目標

（1）大平南ブロック教育目標

- ☆ 身に付けたい力
 - やりぬく力 ○ 学び続ける力 ○ つながる力
- ☆ 目指す子ども像

ふるさとに誇りをもち、ともに夢に向かってたくましく生きる児童・生徒の育成

（2）本校教育目標

しょうぶな子 よく考える子 支え合う子



<シンボルのエノキ>

4 学校経営方針・目指す学校像・目指す教職員像

(1) 学校経営方針

栃木県・下都賀地区・栃木市の教育計画や重点等を踏まえ、学校運営協議会の合意に基づき、本校児童に知・徳・体にわたる調和のとれた「生きる力」を育むため、地域・家庭・中学校区の小中学校と連携・協働し、「ともに学び合い、ともに支え合う、元気一杯の学校」を目指して、児童や地域の実態・特性を踏まえた特色ある教育活動を推進していく。

- 安全・安心な学校を基盤に、心身の健康の保持増進と自他を思いやる温かな心、善悪の判断力を身に付け、主体的に考え、表現できる児童を育てる指導の工夫に努める。（「カリキュラム・マネジメント」の推進）
- 特別支援教育の視点に立った児童理解を基に、児童が自律することを目指し、自己肯定感や自己有用感を味わえるような指導・支援に努める。（「特別支援教育」「児童指導」の推進）
- 幼保・小・中の学びの連続性と一貫性のある教育を行い、保護者・地域とともに質の高い学びと持続可能な教育活動の実現に努める。（「社会に開かれた教育課程」の推進）
- 教育公務員としての自覚と覚悟をもち、互いに協働し、授業を中心とした指導力の向上と業務改善に努める。（「資質・能力」の向上）

(2) 目指す学校像

**「ともに学び合い、ともに支え合う、元気一杯の学校」
－ 挨拶・返事・整理整頓の習慣化と自尊感情の育成 －**

- 安全に、そして安心して学ぶことができる学校
- 一人一人が大切にされ、可能性を伸ばせる学校
- 学ぶことの楽しさを実感できる学校
- 人として成長できる学校
- 学びや育ちが異校種間でつながり、地域とともにある学校

(3) 目指す教職員像

**「自信と誇りをもって子供たちと向き合える教職員」
－ 元気、根気、前向き －**

- 元気一杯、笑顔一杯に、粘り強く前向きに挑戦する教職員
- 子供を敬愛し、子供から学び、子供に寄り添うことができる教職員
- 指導力向上を目指し、主体的に学び続ける教職員
- コミュニケーションを図り、協働できる教職員
- 豊かな人間性を身に付け、やりがいを感じることができる教職員